

調査の目的

環境省では、社会福祉施策と連携した不適正な多頭飼育への対策を推進する観点から、自治体の動物愛護管理部局や有識者等から構成される「社会福祉施策と連携した多頭飼育対策に関する検討会」を設置し、多頭飼育対策に係るガイドラインの策定に向けた議論を進めております。今般、検討会での議論の基礎情報の収集を行うことを目的として、アンケートによる調査を実施します。

調査票はQ1とQ2の2部からなり、Q1は主に各自治体の本庁、Q2は動物愛護管理センター（現場）のご担当者による回答を想定しております。

ご多忙のところ大変恐縮ですが、ご協力をお願いいたします。
なお、調査票のファイルには、Q1とQ2の2つのファイルがありますので、いずれのファイルにもご回答いただき、一緒にご提出くださいますようお願いいたします。
また、Q1及びQ2のファイルのご提出にあたっては、下記の事項に従ってご提出ください。

■電子メールのタイトル

・電子メールのタイトルを「多頭飼育対策アンケート(貴自治体名)」として、令和元年10月30日(水)17:00までにQ1及びQ2の各事例のファイルを、貴自治体のQ1のご担当者が代表して、アンケート事務局宛にE-mailにて提出していただけますと幸いです。

■Q1ファイル

・ファイルの名称は、「Q1調査票(貴自治体名)」としてください。

■Q2ファイル

・アンケートを回答いただく際には、調査票ファイルを事例の数だけコピーし、ファイルの名称を、「Q2調査票事例①(貴自治体名)」、「Q2調査票事例②(貴自治体名)」、「Q2調査票事例③(貴自治体名)」のように、各事例ごとにファイルに連番を付してください。

※上記のファイルは、アンケートの性質上、『シートのコピー』機能で1つのファイルに複数のシートを統合することはご遠慮ください。必ず一つずつファイルとして保存し、全てのファイルをまとめてアンケート提出先にご提出ください。(例:5件の事例を提出する自治体の場合、Q1及びQ2の5事例で、合計6つのファイルを提出いただくことになります。)(次ページ参照)

■不明点のお問い合わせ

・不明点のお問い合わせについて、トラブル防止の観点から、各設問のご担当者ごとに問い合わせるのではなく、貴自治体におけるQ1アンケート回答者お一人を窓口として、Q1及びQ2の質問事項をまとめてお問い合わせください。

【調査実施主体】

環境省自然環境局総務課動物愛護管理室

【多頭飼育対策に関するアンケート事務局】(アンケート提出先)

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社
環境省多頭飼育対策に関するアンケート事務局

Q1ファイル及びQ2ファイルの提出方法

ファイルの提出にあたっては、かならず下記①のように、ファイルを調査票ごとに分けて、提出してください。

下記②のように、1つのファイルにシートを纏めて保存すると、集計ができなくなりますので、必ず別ファイルで保存してください。

①適切な提出方法：各ファイルが独立した状態でまとめて提出

フォルダ(H)

名前	サイズ	種類	更新日時
Q1調査票 (貴自治体名) .xlsx	103 KB	Microsoft Excel ...	2019/10/03
Q2調査票事例① (貴自治体名) .xlsx	257 KB	Microsoft Excel ...	2019/10/03
Q2調査票事例② (貴自治体名) .xlsx	172 KB	Microsoft Excel ...	2019/10/03
Q2調査票事例③ (貴自治体名) .xlsx	122 KB	Microsoft Excel ...	2019/10/03
Q2調査票事例④ (貴自治体名) .xlsx	122 KB	Microsoft Excel ...	2019/10/03
Q2調査票事例⑤ (貴自治体名) .xlsx	122 KB	Microsoft Excel ...	2019/10/03

OK

②適切でない提出方法：1つのファイルにシートをまとめて提出

事例	
(1) 多頭飼育者にかかる基本情報	
1) 貴自治体において把握している多頭飼育者の属性について、以下の質問に対する回答を記入してください。(特に明記しているものを除き、複数回答不可)	
項目	内容
1	最初の情報把握の年度 (西暦) 年度
2	最初の情報把握から解決(あるいは継続中)の期間 年 月
3	動物の種別(複数回答可) ①犬 ②猫 ③うさぎ ④鶏 ⑤その他の鳥類 ⑥その他

調査票 (Q2)① 調査票 (Q2)② 調査票 (Q2)③ 調査票 (Q2)④ 調査票 (Q2)⑤

環境省「令和元年度 社会福祉施策と連携した多頭飼育対策推進事業」回答用シート:【Q1】

不適正な多頭飼育(以下、「多頭飼育」という。)対策について、以下のアンケートにご回答ください。

・オレンジ色の網掛けの欄にご記入ください。

・一部の設問にはグレーの網掛けがかかっています。例えばQ1(1)1)にて、「1.届出制度あり(動物愛護管理法第9条に係る条例)」を選んだ方のみ、2)の設問の網掛けが消え、該当の箇所をお答えいただく流れとなっています。一方で、「2.届出制度あり(その他法令・条例、要綱等)」「3.届出制度なし」を選択した方はグレーの網掛けがかかったままとなりますため、該当の箇所はお答えいただく必要はありません。その他の設問のグレーの箇所について同様の方針です。

なお、調査結果については公表することを前提としています。

都道府県・政令市・中核市名					
分類		←1. 都道府県、2. 政令市、3. 中核市より番号選択			
御 問 い 合 わ せ 先	部署				
	担当者役職				
	担当者氏名				
	電話番号	-	-	内線:	
	FAX番号	-	-		
	電子メールアドレス		@		

Q1【多頭飼育対策に係る自治体の状況について】

(1) 動物の多頭飼育の届出制度の状況

1) 貴自治体における多頭飼育の登録又は届出等の条例又は要綱等による制度の状況について、あてはまる選択肢の番号を1つ、回答欄に記入してください。(複数回答不可)

選択肢	内容	回答欄
1	届出制度有り(動物愛護管理法第9条に係る条例) 動物愛護管理法第9条に係る条例に基づき届出等の義務付けを行っている。	
2	届出制度有り(その他法令・条例、要綱等) 1以外に基づき届出等の義務づけを行っている。 根拠法等の名称を記入(あれば)	
3	届出制度無し 届出等の義務付けは行っていない。	

2) (上記で、「1.届出制度有り(動物愛護管理法第9条に係る条例)」と回答した自治体のみお答えください。)多頭飼育の届出等の対象となる動物について、以下に動物の種別及び頭数について回答欄に記入してください。(複数回答可)

項目	内容			
動物の種別・頭数	1) 犬	頭	4) うさぎ	頭
	2) 猫	頭	5) 鶏	頭
	3) 犬猫(合わせて)	頭	6) 鶏以外の鳥類	頭
	7) その他(具体的な種別、頭数をご記入ください)			

(2) 多頭飼育に対する対応の状況

平成30年度の多頭飼育に関する苦情件数及び苦情のあった世帯の飼育頭数ごとの内訳について、回答欄に記入してください。(複数回答可)

項目	内容				回答欄
1	苦情のあった世帯数	動物2頭以上の飼育者に関して、複数の住民から苦情が寄せられたケースで、平成30年度に苦情がなされた世帯数について記入してください。 注1: 多頭飼育者の世帯が居住する住居(自宅・庭)以外の場(道路、公園、空き家等)での野良猫への餌やり等の苦情は含みません。 注2: 苦情の数に関わり無く、世帯ごとに1件として記入してください。(苦情の件数が2件であっても、10件であっても、同一の世帯に対する苦情であれば、1件とします。)			
2	上記世帯数における飼育頭数ごとの内訳	1) 2頭以上10頭未満口	2) 10頭以上30頭未満		
		3) 30頭以上	4) 把握していない		

(3) 多頭飼育に対する動物愛護管理部署の取組の状況

1) 多頭飼育問題に関わりのあり得る動物愛護管理部署の取組の状況について、以下の選択肢から1つ選んで、回答欄に記入してください。

【選択肢】

- 1. 実施済み・取組中である
- 2. 未実施だが、実施に向け調整・検討中
- 3. 未実施であり、取組の予定はない

項目	内容	回答欄
1	多頭飼育者の情報共有のための行政組織内の会議等の開催	
2	多頭飼育に起因する問題に関する市民への普及啓発(例:HP、リーフレット、セミナー等)	
3	平時からの不妊去勢手術の普及啓発(例:リーフレットの配布の協力等も含む)	
4	平時からの不妊去勢手術への助成・支援	
5	不妊去勢手術に必要な行政施設内の設備・薬品の用意及び執刀できる職員の確保	
6	苦情が寄せられている多頭飼育者への定期的な戸別訪問	
7	動物愛護部署に所属する職員を対象とした多頭飼育問題に関わるガイドライン・手引き等の作成	
8	都道府県内市町村に所属する職員を対象とした多頭飼育対策の研修※1	
9	その他の取組 (具体的にご記入ください。)	

※1: 都道府県内市町村: 都道府県を対象にした質問です。(政令市・中核市の回答は不要です。)

2) (上記の項目1にて、「1実施済み・取組中である」と回答した自治体のみ) 会議の開催方法について当てはまるものに、回答欄に○を記入してください(複数回答可)。

項目	内容	回答欄
1	動物愛護部署のみの会議・研修会等の開催	
2	動物愛護管理部署の会議・研修会等に福祉部署が参加	
3	福祉部署の会議・研修会等に動物愛護管理部署が参加	
4	その他の主体について (具体的にご記入ください。)	

(4) 多頭飼育に対する福祉部局との連携・協力の状況

多頭飼育に対する貴自治体における福祉部局との連携・協力の状況について、以下の選択肢から1つ選んで、回答欄に記入してください。

【選択肢】

1. 定期的又は継続的に協力が得られている
2. 個別の事例に応じて、協力が得られることがある
3. 連携・協力は行われていない

項目	内容	回答欄
1	多頭飼育に関する市民への啓発	
2	多頭飼育者の所有する動物の不妊去勢手術・飼養状況改善・引取りへの説得・同行	
3	不妊去勢手術の普及啓発(リーフレットの配布の協力等も含む)	
4	多頭飼育者の戸別訪問への同行	
5	多頭飼育者へのメンタルケア(例:メンタルケアが必要と思われる多頭飼育者を、専門機関や福祉サービスへつなぐ、等)	
6	生活が困窮している多頭飼育者への生活支援(例:生活困窮者自立支援、生活保護等の福祉サービスへつなぐ、等)	
7	福祉部局等他の部署等に所属する職員を対象とした多頭飼育の研修	
8	その他の取組について (具体的にご記入ください。)	

(5) 多頭飼育に対する他部署・他機関との連携・連絡体制の構築の状況

多頭飼育に関する各関係機関との連携・連絡体制の構築の状況について、選択肢から1つ選んで、各回答欄に記入してください。なお、斜線のセルは回答不要です。

【選択肢】

- 1.実施済み・取組中である
- 2.未実施だが、実施に向け調整・検討中
- 3.未実施であり、取組の予定はない

項目	内容	回答欄※1 ※2						
		動物愛護管理局への通報	不妊去勢手術の説得・調整	不妊去勢手術の実施	飼養状況改善の説得・調整	動物の引取りの説得・調整・実施	定期的な戸別訪問への同行	収容動物の世話
1	社会福祉協議会・民生委員			/				/
2	自治会・町内会			/				
3	獣医師会・動物病院							
4	動物愛護団体・ボランティア・動物愛護推進員							
5	警察			/				/
6	都道府県内市町村							
7	その他	左記各機関との連携・連絡体制の構築(都道府県のみ)※3 その他機関との多頭飼育に関する情報共有のための連携・連絡体制について、具体的にご記入ください。						

※1:ここで言う「連携」とは、具体的な協定などの取り決めがあるものには限りません。様々な形の協力関係を含むものとします。

※2:回答欄の内容の一部に記載の「説得・調整」について、各機関から具体的な協力を得ているかを問うものです。協力の形には、不妊去勢手術・飼養状況改善・動物の引取りに関する啓発・周知をする活動や、問題を抱えた飼育者に対して、各機関から説得の働きかけを行っていただく場合も含まれます。

※3:都道府県内市町村:都道府県を対象にした質問です。(政令市・中核市の回答は不要です。)

(6) 動物愛護管理部署が抱えている多頭飼育に関する課題

多頭飼育に関する各課題について、下記の項目に当てはまるものについて、各回答欄に○を記入してください(複数回答可)。

項目	内容	回答欄
1	多頭飼育に関する情報が入ってこない(情報が入ってきた時には崩壊状態となっている)	
2	多頭飼育者とのコミュニケーションができない(立ち入りを拒否される等)	
3	多頭飼育者が動物の所有権を手放さない	
4	福祉部局と、多頭飼育に関する課題認識を共有することが難しい	
5	多頭飼育者を訪問する福祉サービス提供者まで、多頭飼育の問題について理解されていない	
6	多頭飼育の状況を一時的に改善しても、再発してしまう	
7	動物を収容する施設・スペースが不足している	
8	人員が不足している	
9	多頭飼育者から引き取った動物の健康状態や性質に問題があり、譲渡が進まない	
10	殺処分ゼロを目指すために引取りを減らす方針があるため、積極的に介入しづらい	
11	獣医師会・動物病院・動物愛護団体・ボランティア等の外部機関と十分な連携体制が構築されていない	
12	飼い主の個人情報にあたる部分が多く、部局を超えた情報共有が難しい	
13	多頭飼育者が生活に困窮しており、引取りや不妊去勢の手数料を支払えない	
14	その他の課題 (具体的にご記入ください。)	

【Q2: 貴自治体が把握している多頭飼育の個別事例について】に係る事例の件数

Q2の事例については、動物愛護管理センター(現場)の事例を取りまとめていただき、Q1と合わせてまとめてご提出ください。(Q2の事例は最低1件から最大で5件までとしてください。)

提出に先立ち、Q2の事例の提出件数をご確認いただき、右記にご記入してください。
アンケートの集計上、事例数をお間違えのないようにしてください。
(※最低1件～最大5件までとなります。)

件

環境省「令和元年度 社会福祉施策と連携した多頭飼育対策推進事業」回答用シート【Q2】

都道府県・政令市・中核市名	
分類	← 1. 都道府県、2. 政令市、3. 中核市より番号選択

■アンケート回答者様へのお願い

【アンケート回答者様へのお願い】

- ・アンケートを回答いただく際には、調査票ファイルを事例の数だけコピーし、ファイルの名称を、「Q2調査票事例①(貴自治体名)」、「Q2調査票事例②(貴自治体名)」、「Q2調査票事例③(貴自治体名)」のように、各事例ごとにファイルに連番を付してください。
- ・アンケートの回答について、オレンジ色の網掛けの欄にご記入ください。
- ※上記のファイルは、アンケートの性質上、『シートのコピー』機能で1つのファイルに複数のシートを統合することはご遠慮ください。例えば、5件の事例を提出する自治体の場合、Q1及びQ2の5事例で、合計6つのファイルを提出いただくことになります。
- ・一部の設問にはグレーの網掛けがかかっています。例えばQ2(1)1)の項目17にて、「1)解決済み」を選ぶと、項目18及び19のグレーの網掛け部分が消え、該当の箇所をお答えいただく流れとなっています。一方で、項目17にて1)以外を選択した方はグレーの網掛けがかかったままであり、該当の箇所はお答えいただく必要はありません。その他の設問のグレーの箇所についても同様の方針です。
- ・不明点のお問い合わせについて、トラブル防止の観点から、各設問のご担当者ごとに問い合わせるのではなく、貴自治体におけるQ1アンケート回答者お一人を窓口として、Q1及びQ2の質問事項をまとめてお問い合わせください。
- ・なお、調査結果については公表することを前提としています。

Q2【貴自治体が把握している多頭飼育の個別事例について】

本シートは、貴自治体における個別事例についての質問です。以下の説明に従って不適正な多頭飼育の事例を選び、シートに回答を記入してください。

■対象とする事例は以下のとおりです。

- 1) 過去5年以内(2015年4月から現在まで)に発生・継続しているもの。(過去5年より前に発生し、直近5年以内に問題が継続していることが確認された事例を含む。)
- 2) 事例の選定にあたって、事例が終結しているか、継続しているかは問いません。
- 3) 当該事例を可能な限り担当している職員より、ご記入をお願いいたします。把握している範囲でかまいません。(把握できていない設問については、空白のまま(無回答)としてください。)
- 4) 事例は**最低1件から最大で5件**までとしてください。(なるべく多くの事例を記載してください)
- 5) 多頭飼育者の世帯が居住する住居(自宅・庭)以外の場(道路、公園、空き家等)での野良猫への餌やり等の事例は含みません。
- 6) 事例の抽出にあたっては、飼育者と動物の状況をより把握できている事例などから優先してお選びください

事例

(1) 多頭飼育者にかかる基本情報

1) 貴自治体において把握している多頭飼育者の属性について、以下の質問に対する回答を記入してください。(特に明記しているものを除き、複数回答不可)

項目	内容		
1	最初の情報把握の年度	(西暦)	年度
2	最初の情報把握から解決(あるいは継続中)の期間		年 月 日
3	動物の種別(複数回答可)	1) 犬	2) 猫
		4) 鶏	5) 鶏以外の鳥類
3			3) うさぎ
3			6) その他
4	動物の飼育頭数	1) 2頭以上10頭未満 2) 10頭以上30頭未満 3) 30頭以上	
5	主たる飼育者の性別	1) 男性 2) 女性	
6	主たる飼育者の年齢	1) ~20代 2) 30代 3) 40代	
		4) 50代 5) 60代 6) 70代以上	
7	飼育者の同居者(複数回答可)	1) なし 2) 配偶者	3) 親
		4) 子ども 5) 兄弟・姉妹	6) その他の同居者
8	同居していない親族の有無(複数回答可)	1) なし 2) 配偶者	3) 親
		4) 子ども 5) 兄弟・姉妹	6) その他

9	居住環境	1)持ち家(戸建)	2)持ち家(集合住宅)	3)借家(戸建)	
		4)借家(集合住宅)	5)公営住宅(戸建)	6)公営住宅(集合住宅)	
		7)その他			
10	住宅の規模	1)小規模(1R~1LDK)	2)中規模(2K~2LDK、3K~3LDK)	3)大規模(4K以上)	
11	地域性	1)農村・中山間地域	2)郊外住宅地	3)住宅密集地	4)商業地・繁華街
12	最初の情報提供者・機関	1)本人	2)家族・親戚	3)近隣住民	
		4)獣医師・動物病院	5)動物愛護団体(ボランティア含む)	6)動物愛護推進員	
		7)保健師・福祉担当職員等	8)社会福祉協議会	9)民生委員	
		10)都道府県内市町村※1	11)自治会・町内会	12)その他	
13	多頭飼育に係る動物を入手した経緯(複数回答可)	1)購入	2)譲渡(自治体から)	3)譲渡(民間シェルターから)	
		4)譲渡(知人・個人から)	5)野良猫を飼い始めた	6)その他・不明	
14	飼育者が多頭飼育状態に陥った経緯(複数回答可)	1)家族との死別	2)失業	3)離婚・配偶者との別居	
		4)けが・病気	5)人間関係のトラブル	6)子どもとの別居	
		7)親との別居	8)その他		
15	多頭飼育者の生活保護の受給の状況	1)受給している(いた) 2)受給していない(いなかった)			
16	障害等の認定の有無(複数回答可)	1)障害者手帳	2)精神保健手帳	3)介護保険	
17	課題の解決について	1)解決済み	2)継続中(改善傾向)	3)継続中(変化無し)	4)継続中(悪化傾向)

「17.課題解決について」において、「1)解決済み」と答えた方のみご回答ください。

18	事案終結の経緯(飼育者の状況)(複数回答可)	1)飼育者の納得と行動変化	2)強制力ある法的措置での対応(逮捕、行政代執行等)	3)飼育者の死亡
		4)飼育者の管轄地域外への転居	5)飼育者の長期の施設入所・病院入院	6)災害等による避難
		7)その他		
19	事案終結の経緯(動物の状況)(複数回答可)	1)行政・愛護団体等による引取り	2)譲渡(本人努力)	3)不妊去勢手術の実施
		4)飼養状況の改善	5)その他	

「19.事案終結の経緯」において、「1)行政・愛護団体等による引取り」と答えた方のみご回答ください。

20	引取り時の説明	1)飼育者に「殺処分しない」と約束して引き取り		
		2)飼育者に「殺処分の可能性もある」と説明して引き取り		
		3)特に明言せず		4)その他

※1:都道府県内市町村:都道府県を対象にした選択肢です。(政令市・中核市の回答は不要です。)

2)上記に関連して、以下の点及びその他特筆すべき点があればご記入ください。(自由回答)

- ・飼育者が多頭飼育に至る経緯・引き金
- ・多頭飼育が発覚した(表面化した)経過 など

その他、上記以外にも、お気づきのことがあれば、ご記入ください。

(2) 生活の状況

1)以下の各項目に対する内容について、当てはまるものを以下の選択肢から1つ選んで、各回答欄に記入してください。

【選択肢】

5. あてはまる 4. ややあてはまる 3. どちらとも言えない 2. あまりあてはまらない 1. あてはまらない

項目	視点	No	内容	回答欄
1	経済状況	1	経済的に困窮している(いた)	
2	認知症、精神疾患、知的障害等が疑われる症状	2	被害妄想のような発言をしている(いた)	
		3	経緯の説明に一貫性がなく、二転三転している(いた)	
		4	短時間のうちに同じ話を何度も繰り返している(いた)	
		5	担当者個人の顔を覚えていないことがある(あった)	
		6	読み書きや計算に困難を伴う(伴っていた)	
		7	先のことを予測したり、欲求をコントロールすることが難しい(難しかった)	
3	生活の乱れ	8	アルコールに依存する様子が見られる(見られた)	
		9	ギャンブルに依存する様子が見られる(見られた)	
4	健康状態	10	身体的な病気や、筋力・歩行の弱さが見られる(見られた)	
		11	十分な食事を取っていない様子が見られる、もしくはやせが目立つ。	
		12	入退院をくりかえしている(いた)	
5	動物とのかかわりに見られる特徴(ホーダー気質の有無等)	13	動物への過度の愛着を持っている(いた)	
		14	殺処分を恐れている(いた)	
		15	動物を殴ったり威張るなどの支配欲を持っている(いた)(扱いが粗雑である(あった))	
		16	もともと保護活動や譲渡活動を行っている(いた)	
		17	繁殖業に従事したことがある(あった)	
6	行政関係者との関係構築	18	動物の所有権を放棄しようとしな(しなかった)	
		19	行政担当者の話に拒否反応が見られる(見られた)	
		20	動物行政担当者よりも、保健師・福祉担当者を信頼している(いた)	
7	暴力的な言動(コミュニケーション、社会性の有無)	21	動物行政担当者よりも、動物愛護団体を信頼している(いた)	
		22	怒鳴られたり、非難・暴言を向けられたりすることがある(あった)	
		23	暴力を振るわれる恐れを感じる(感じた)	
		24	担当者に暴力を振るう(振られた)	

2)上記に関連して、特筆すべき点があればご記入ください。(自由回答)

(3) セルフ・ネグレクト(※1)について

1) 以下の各項目に対する内容について、当てはまるものを以下の選択肢から1つ選んで、各回答欄に記入してください。

【選択肢】

5. あてはまる 4. ややあてはまる 3. どちらとも言えない 2. あまりあてはまらない 1. あてはまらない

項目	視点	No	内容	回答欄
1	住宅内の衛生状態	1	室内で悪臭がする(した)	
		2	屋外まで悪臭がする(した)	
		3	室内で害虫が発生している(いた)	
		4	屋外まで害虫が発生している(いた)	
		5	食べ物やゴミが放置されている(いた)	
		6	排泄物や排泄物で汚れた衣類や物が放置されている(いた)	
		7	家屋内にカビが発生している(いた)	
		8	窓が壊れているなど修理すべき箇所を修繕していない(いなかった)	
		9	ごみ置き場から物をためこむ、あるいは外から拾ってくる(きた)	
2	飼育者自身の衛生状態	10	髪・髭・つめが伸び放題である(あった)	
		11	身体から悪臭がする(した)	
		12	全裸に近い状態である(いた)	
		13	ボロボロの衣類を着用している(いた)	
3	保健医療福祉サービスの利用状況	14	必要な医療の提供を拒否する(した)	
		15	必要な保健・福祉サービスを拒否する(した)	
4	他人との関わりを拒否する(した)	16	他人との関わりを拒否する(した)	
		17	近隣住民との関わりがない(なかった)	
		18	近隣住民との間でトラブル・苦情が発生している(いた)	
5	金銭・財産管理能力の有無	19	金銭の適切な使い方ができない(なかった)	
		20	ライフライン(ガス、水道、電気)が、一部又は全部途絶えている(いた)	
		21	家賃や公共料金が未払いである(あった)	

※1セルフ・ネグレクト: 通常一人の人として、生活において当然行うべき行為を行わない、あるいは行う能力がないことから、自己の心身の安全や健康が脅かされる状態に陥ること

2) 上記に関連して、特筆すべき点があればご記入ください。(自由回答)

(4) 動物の様子

1)以下の各項目に対する内容について、当てはまるものを以下の選択肢から1つ選んで、各回答欄に記入してください。

【選択肢】

5. あてはまる 4. ややあてはまる 3. どちらとも言えない 2. あまりあてはまらない 1. あてはまらない

項目	視点	No	内容	回答欄
1	動物の飼育の状況	1	指導している間にも、多頭飼育者が保護する動物が増えている(いた)	
		2	狭いケージに収容している(いた)	
		3	家屋内・敷地内では放し飼いにしている(いた)	
		4	糞尿を適切に片付けていない(いなかった)	
		5	室内に動物が適切な管理がなされないまま置き去りにされている(いた)	
		6	不妊去勢手術を行っていない動物がいる(いた)	
		7	動物の栄養状態が悪い(悪かった)	
2	動物の衛生状態	8	皮膚炎や病気の疑いがある(あった)	
		9	動物に寄生虫が寄生している疑いがある(あった)	
		10	感染症に罹患した動物がいる(いた)	
		11	狂犬病予防接種の記録がない(なかった)※1	

※1:犬のみご回答ください。

2)上記に関連して、特筆すべき点があればご記入ください。(自由回答)

(5) 虐待が疑われる状況

1)以下の各項目に対する内容について、当てはまるものを以下の選択肢から1つ選んで、各回答欄に記入してください。ただし、「項目1」については、同居者や家族のいる事例のみお答えください。

【選択肢】

5. あてはまる 4. ややあてはまる 3. どちらとも言えない 2. あまりあてはまらない 1. あてはまらない

項目	視点	No	内容	回答欄
1	動物への虐待の可能性	1	動物に状況説明と一致しない不自然な外傷がある(あった)	
		2	動物の怪我・疾患に無関心である(あった)	
		3	動物に基礎疾患が無いにもかかわらず衰弱している(いた)	
		4	動物の死体がある(あった)	
「(1)多頭飼育者にかかる基本情報」の「7飼育者の同居者」において、同居者有り(2~6)を選択した方のみお答えください。				
2	飼育者の世帯における人への虐待の可能性 【同居者の居る事例のみ】	5	同居者に、説明のつかない不自然な傷やあざが頻繁に見られる(見られた)	
		6	家庭内で、同居者に対し(「早く死んでしまえ」などの)否定的な発言が見られる(あった)	
		7	同居者は、衣服・身体の清潔さが保たれていない(いなかった)	
		8	同居者は、生活に必要なお金をかけてもらっていない(いなかった)	
		9	同居者に、やせが目立ったり、急な体重の減少、拒食や過食による不自然な体重の増減がある(あった)	

2)上記に関連して、特筆すべき点があればご記入ください。(自由回答)

(6) 関与する民間団体の様子

1)以下の各項目に対する内容について、当てはまるものを以下の選択肢から1つ選んで、各回答欄に記入してください。

【選択肢】

5. あてはまる 4. ややあてはまる 3. どちらとも言えない 2. あまりあてはまらない 1. あてはまらない

項目	視点	No	内容	回答欄
1	自治会・町内会等との関係	1	自治会・町内会・近隣住民は飼育者に対して心配している(いた)	
		2	自治会・町内会・近隣住民は飼育者を非難している(いた)	
		3	飼育者本人との対話に際し、社会福祉協議会や民生委員等が協力している(していた)	
2	動物愛護団体・ボランティア・動物愛護推進員等の関わり	4	動物愛護団体・ボランティア等が飼育者を非難している(いた)	
		5	動物愛護団体・ボランティア等が飼育者の支援を行おうとしている(していた)	
3	獣医師会・動物病院による支援の状況	6	動物の不妊去勢手術に際し、獣医師会・動物病院が協力している(していた)	
		7	動物の治療や感染症対策に際し、獣医師会・動物病院が協力している(していた)	

2)上記に関連して、特筆すべき点があればご記入ください。(自由回答)

(7) 各事例に対する行政側の課題・対応・対応策

1)以下の各項目に対する内容について当てはまるものを以下の選択肢から1つ選んで、各回答欄に記入してください。

【選択肢】

5. あてはまる 4. ややあてはまる 3. どちらとも言えない 2. あまりあてはまらない 1. あてはまらない

項目	視点	No	内容	回答欄
1	他の部署、他の機関との情報共有の状況	1	保健師・福祉担当職員等の社会福祉部局との情報共有を行っている(行った)	
		2	都道府県内市町村との情報共有を行っている(行った)※1	
		3	社会福祉協議会・民生委員との情報共有を行っている(行った)	
		4	自治会・町内会との情報共有を行っている(行った)	
		5	獣医師会・動物病院との情報共有を行っている(行った)	
		6	動物愛護団体・ボランティア・動物愛護推進員との情報共有を行っている(行った)	
		7	警察との情報共有を行っている(いた)	

※1:都道府県内市町村:都道府県を対象にした質問です。(政令市・中核市の回答は不要です。)

2)上記に関連して、特筆すべき点があれば記入してください。(自由回答)

(8) その他、本事例に関する特記事項

1)当該事例において、状況の改善または解決に寄与した、他部署・他機関との連携・協力等のプロセスや、その他の要因について、お気づきの点を記入してください。(自由回答)

2)当該事例において、解決を困難にしている要因や、直面している課題等について、お気づきの点を記入してください。(自由回答)